



男性用トイレ 内観

某大学

校舎の老朽化のため移転新築し、産学官連携拠点施設としての機能も追加された新棟。

地域の避難所に指定されているキャンパス。トイレには、平常時も災害時もいつもと同じ場所・同じ使い方で、高齢者や障害のある方、子どもや女性など、誰でも安心して利用できる災害配慮トイレ「レジリエントトイレ」を設置。通常時は5L、断水時は1Lの水量に切り替えることができる。

DATA

竣工：2020年2月

商品情報

〈一般トイレ〉	
レジリエントトイレ	: BC-P112SA・DT-PB150CH
シャワートイレ	: CW-PB11M/F-NECK-TU
小便器	: U-A51AP
洗面器	: L-2094CL
自動水栓、水石けん入れ	: AM-211V1, KF-24EM
〈多機能トイレ〉	
大便器	: BC-P20SML・DT-PA250CH
シャワートイレ	: CW-PC12QD-NECK
背もたれ	: KFC-271T1U2
洗面器	: L-275N
自動水栓、水石けん入れ	: AM-211V1, KF-24F
オストメイトパック	: PTOM-A210TLW



外観全景



平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

男性用トイレ



大便器のレジリエントトイレは、平常時は洗浄水量5Lの水洗トイレとしてシャワートイレを設置。断水時には平常時と同じ使い方で洗浄水量1Lで使用できる。

女性用トイレ



白を基調とした明るく清潔感のある室内。洗面カウンターや大便器ブースには手すりを完備。大便器のフタはタンクに固定し、地震の際の落下を防止している。

施設管理者様の声

本学は地区の避難所に指定されているため、災害発生時には構内のトイレを使用することになる。

今般、老朽化した校舎を移転新築することになったが、移転先が避難場所である体育館に近く、災害時には新校舎のトイレを使用する機会が多くなることが想定されたため、災害に強いレジリエントトイレを設置することを決めた。

給水が止まっても少ない水量で汚物を洗い流せること、平常時は一般的なトイレと同じように使用できることが魅力的だと感じた。

幸いにもレジリエントトイレを設置してから大きな災害は起きていないが、水の供給の役割分担や使用方法の周知など、使う側の準備も万全にして、災害時には活躍を期待したい。

大学事務局 施設担当者 様

多機能トイレ



各種手すりや車椅子に対応した機器をゆとりを持たせて設置。オストメイトに配慮した流しも備え、誰もが安心して利用できる環境を整備している。

トイレ入り口まわり



白い壁に赤・青に色分けされた縦帯状のラインを配置することで、男性用トイレ・女性用トイレが一目で認識できるようになっている。多機能トイレの扉は引き戸タイプで入退室がやすく、車椅子やオストメイトのビクトサインの他、「どなたでもお使いください」と表記することで利用者を限定しないよう配慮している。